



公益社団法人北海道柔道整復師会
附属北海道柔道整復専門学校同窓会

同窓会会報

第24号

発効日 令和6年4月1日
同窓会事務局
公益社団法人 北海道柔道整復師会
附属北海道柔道整復専門学校
〒060-0042 札幌市中央区大通西18丁目
電話 011 (642) 0731
FAX 011 (642) 8455

4年振りに総会・特別講演会が開催されました！

令和5年度 北海道柔道整復専門学校同窓会総会及び特別講演会の報告

令和5年4月16日(日) 10時より、4年ぶりとなる総会が北柔専4階講堂にて行われました。総会における議事は滞りなく進行し、役員改選では筒井会長の4期目続投が満場一致の拍手を頂き承認されました。

続いて、10時30分より 特別講演会として、2名の講師にご講演をいただきました。第1席は北柔専校 教頭 西巻 英男先生による、「柔整臨床 温故知新!? 知新温故!!～柔整アップデート」と題して、①現場外傷アプローチ ②病態 整復法 EX ③エコー解剖のテーマの順に講演が進みました。

最後に、石川先生の動画が流れ、時代は変わったなあとしみじみ思いました。

第2席は医療法人社団みつわ整形外科クリニック 医師 島本 則道先生による「コンタクトスポーツの危険な外傷～選手のケガを悪化させない」と題したご講演をいただきました。

先生ご自身もスポーツドクターであり、2019年のラグビーワールドカップではマッチデードクター(MDD)を務められました。そのようなスポーツ現場での豊富な経験をもとに我々柔道整復師がどのような準備や対応をするべきかを具体的にお話しいただきました。

・コンタクトスポーツとは、激しい身体接触が意図的に行われる競技であり、具体的にはラグビー、アイスホッケー、柔道などである。医療者はスポーツ障害の専門知識と医療技術を持ち、スポーツ競技者の立場になって治療にあたり、スポーツ医学に基づいてアスリートをサポートしなければならないとお話しされました。

・現場では、競技中に脳震盪または脳震盪疑いの選手を発見した際の対応として、「Head Injury Assessment」が大切であることと、「ABC→A Air Way B Breathing C Circulation」を素早く評価する手段として、「見て・聞いて・感じる」ことが大切であるとお話しされました。

まとめとしてとして、コンタクトスポーツは危険なので、外傷が発生した場合は、スポーツ初期外傷対応の一般原則に従い、選手のけがを悪化させない事が大切であると述べられました。

本来であれば、特別講演会後に参加者全員で懇親会を行うのが慣例ですが、コロナ禍の中やむなく中止となりました。次回は、通常の形で開催できればいいと思います。

同窓会会員の皆様には、ご都合もあるかと思いますが、講演会は必ず自身の勉強になる内容ですので、是非ともご参加ください。同窓生に会って、気分転換をして頂ければ幸いです。

(報告 飛野 一路志)



ご挨拶



北海道柔道整復専門学校
同窓会 会長 筒井 寛幸

日頃より同窓会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

北柔専同窓会会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。まずは1月1日に発災しました能登半島地震において、亡くなられた方や被災されて避難生活を強いられている方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また世界に目を向けますと、戦争が長期にわたっている国や、新たな紛争を起こしている地域があります。地域で暮らす市井の人々に思いをはせると、一日も早い解決が望まれます。

さて、我々の生活においては、長期にわたったコロナ禍も、昨年5月の5類移行に伴い、コロナ禍前に戻りつつあるこの頃です。

北柔専校においても、諸行事が復活しつつありますが、同窓会の活動としては、私の力不足により、令和5年度も活発な活動ができない一年となってしまいました。

今後の同窓会の運営につきましては、近年の入学者減にともない同窓会の会費収入がかつてない金額となり、根本的に検討しなければならない状況となっています。

会員の皆様におかれましては、ご案内の同窓会総会にご出席いただき、今後の運営についてのご意見をいただければと思います。

令和6年度の総会は4月21日（日）に別紙の内容での開催を計画しておりますので、是非、先輩や同期生、または後輩とお誘いあわせのうえで、ご参加いただきたくお願いいたします。

また、この機会には是非教員とも情報交換をされ、ひいては更なる同窓会の発展に、ご協力を賜りたくお願いいたします。

最後に、会員皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げまして、同窓会会報発行にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和4年度事業報告

令和4年	4月10日（日）北柔専校入学式 会長出席
	18日（日）同窓会総会・特別講演会 中止
令和5年	2月27日（月）三役会
	3月11日（土）北柔専校卒業式 会長出席
	3月13日（月）役員会
	3月13日（月）同窓会総会案内 発送作業

令和5年3月11日（土）開催の北海道柔道整復専門学校卒業式を終えて、新たに20名の会員を迎えることとなりましたので、ここにご紹介いたします。
同窓会会員一同、新入会員皆様の今後のご活躍をお祈りいたします。



北柔専校から



ご挨拶

北海道柔道整復専門学校
副校長 池田 由

北柔専同窓生の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。令和5年5月21日の北整総会におきまして、副会長並びに北海道柔道整復専門学校の副校長を拝命いたしました。

母校である北海道柔道整復専門学校の副校長に就任することは、とても名誉なことでありまして、大変誇りに思っております。

私が北海道柔道整復専門学校に入学したのは、昭和58年の4月ですからもう40年が経過しました。当時は夜学の2年制でしたが、入学希望者が多く倍率で4倍から5倍の受験者数があったと記憶しております。現在の受験者数の状況を考えると隔世の感があります。校舎は現在の北海道柔道整復師会の会館に間借りしているような感じで、北整会館の左側は北整事務局の入り口、学校は右側の入り口で、3階に学校の事務局と1年生と2年生の教室、柔道場は1階にあったと思います。

夜間の学校でしたから、昼間は病院や整骨院で働いている生徒も多くて授業は疲労との戦いという一面もありましたが、授業の内容はとても面白く興味あふれるものでした。岩田千男先生の解剖学、近藤浩先生の整形外科学、広重力先生の生理学、井上先生の病理学等等、十勝の田舎から出てきた私にとってその授業は学術的好奇心を刺激され、理路整然とした素晴らしい学問の場であったことを懐かしく思い出されます。

現在は3年制になり知事免許から厚生労働大臣免許にかわり、難易度も私の時代とは比べ物にならない難しさであろうと思います。そんな中においてもしっかりと勉強し将来を夢見て実行している在校生の少しでも力になれるように努力してまいりたいと思います。浅学非才の身ではありますが、北海道柔道整復師会と北海道柔道整復専門学校の皆様、また北海道柔道整復専門学校同窓会の皆様と協力し連携して学校運営をスムーズに行っていけるように努めて参りたいと思います。何卒よろしくお願ひ申し上げます。令和6年4月21日に同窓生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。



～ 卒業生 ～

「3年間を振り返って」

3年生 自治会長 村井 辰徳

私たちが入学してすぐに、コロナウイルスの影響でリモート授業となり、聞き覚えのない医療用語に苦労しながら授業をしていましたが、先生方やクラスメイトと共に乗り越え頑張り勉強してきました。

ようやく今年度から課外授業も出来るようになり、クラス会や運動会、高等学校柔道選手権大会に救護班での参加など、楽しい思い出や良い経験が出来たと思います。

その中でも一番の思い出は、実技審査で全員合格出来た事です。最初は包帯の巻き方や必要な固定具など全然解らず苦労しましたが、放課後も皆と練習し、協力しながら、話し合い指摘しながら成長する事が出来ました。

卒業までわずかとなりましたが、国家試験合格に向け、皆で頑張っていきたいと思います。これまでご指導して頂いた先生方や関係者の皆様に心から感謝致します。

3年間ありがとうございました。

～ 教務部 ～

「学校だより」を作成いたしました。

URL http://jusei.or.jp/tech/?page_id=3437

右のQRコードをスマートフォンで読み込み、ご覧ください。



北海道柔道整復専門学校
教務部

～ 行 事 ～



令和4年度 卒業式



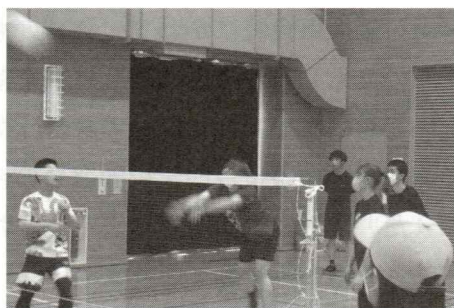
令和5年度 入学式



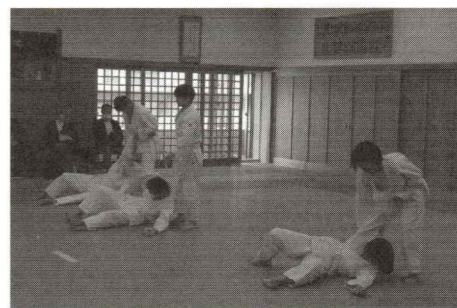
解剖見学



企業説明会



球技大会



昇段審査会

同窓会のホームページもご覧ください。

URL <http://www17.plala.or.jp/hokuju-doso/index.html>

(※学校のホームページにリンク「北柔専同窓会」を貼っています。)



編 集 後 記

同窓会会報も通算24号となりました。コロナ禍による諸行事の中止等により、かつての紙面構成とは違ってきていますが、出来る限り充実した内容とするべく努力しているところです。

今後の会報がどうなるのか不透明な状況ではありますが、役員一同頑張りますのでよろしくお願いたします

発行責任者 筒井 寛幸